

以

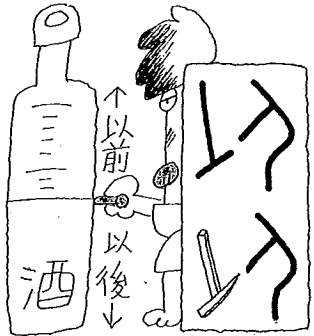
おん イ

〔4年〕

5画
一レレレ以以

右上へはらう

なりたち 以は農具のすきの形を表した字。トと人との会意字。人はすきに「よつて」耕作ができ生活が立つ。人とすきとで「よる」という意味を表した。転じて、「より」（それより）の意味に多く使われる。



いみとじゆく
▼…から。…より。…を基点として。
以上：①それより上。【用例】予想以上の出来栄え。②いまままでに述べたこと。【用例】上の通り決定する。③…したからには。【用例】約束した以上、必ず実行する。【例】開業以来…その時から後。【例】開業以来…
以降：…これから後。以後…以降と同じ意味。「以前」と同じ意味に使うのは誤り。
以遠：…そより遠い所。【例】関西以遠
▼…をもつて。…によつて。以心伝心：言葉や文字を使わずに直接心から心へ思うことを伝えること。禅から出た言葉。
よみかた 以下・以外・以前・以内・以南・以北

以似

似

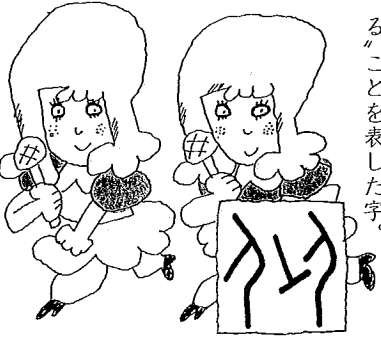
おん ジ

〔5年〕

7画
一ノ人レ人レ似似

とめる

なりたち 人と人の間に「農具のすきの形」を加えた字。左の人と右の人と、人はどんなに変わっていても、すきの使い方はよくにている。よく「にる」ことを表した字。



いみとじゆく
▼…に。…にせる。まねる。
類似：似かよっていること。【例】類似品
近似：よく似ていること。非常に近い状態であること。
【例】近似値
相似：一方が他方を写したように、よく似ていること。
【例】相似形（数学で一方を縮小・拡大した図形と他方がびつたり重なる図形どうし。）
酷似：違いがわからないほどよく似ていること。【用例】酷似した問題。
よみかた 似あい・似顔



休

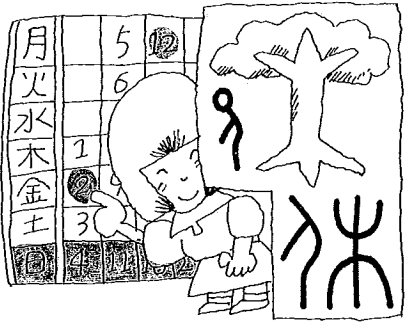
おん キユウ

〔1年〕

6画
ノ人レ人レ休休

とめる

なりたち 田畑で働く人は、「やすむ」時にはたいいてい木のかたわらでやすむ。それで木のわきに人という字を加えて「やすむ」という意味を表した。



いみとじゆく
▼やすむ。やめる。
休息：していた仕事・活動などをやめて、体をやすめること。
休暇：学校・官庁・会社などで休日以外に認められている休み。【例】夏期休暇
休職：官庁・会社などの職員が身分をそのままにして一定期間仕事を休むこと。
休戦：敵味方が話し合いの上で戦いを一時やめること。
公休：①公式に認められた休日。②同業者が申し合わせて休む日。
代休：休日に出勤した代わりとして取る休暇。
休火山：噴火の記録はあるが、長い間活動していない火山。

よみかた 休演・休憩・休校・休止・休日・休養・帰休・定休・夏休み・連休

体

おん タイ・テイ

〔2年〕

7画
ノ人レ人レ体体

とめる

なりたち 人はからだが弱かったら何もできない。からだは人の本である。それで、人と本とで、人の基本である「からだ」を表した。転じて、物の「形や姿」の意味にも使う。



いみとじゆく
▼からだ。
体格：からだの骨ぐみや肉づき。
▼かたち。
字体：文字の形。正体と通俗体。楷書（正）・行書・草書。教科書体・明朝体（正）など。
▼もとになるもの。
実体：基本になる、具体的なもの。変化していくものの根底にある、本質的なもの。
▼身につける。自分のものとする。
体得：じゆうぶん理解して、自分の身につけること。
【用例】技術の体得。
▼ようす。外観。
体裁：外からみえる様子。外見。特に他人に対するみえ。

よみかた 体制・具体・正体・裸体

休体